

ラグビーワールドカップ二〇一九の大分県開催実現に関する決議

ラグビーワールドカップは、夏季オリンピック・FIFAワールドカップに次ぐ、世界三大スポーツ祭典とされ、世界で延べ四十億人が視聴する大会である。二〇一九年の日本大会は、アジアで初めての開催であり、参加国二〇カ国、四十八試合が予定され、全国十数カ所の会場での開催が計画されている。

本県は、二〇〇二年FIFAワールドカップ日韓大会や二〇〇八年開催の「大分国体」を成功裏に導いた実績があるとともに、試合開催地として、国内有数の収容人数を誇るスタジアムを有しているほか、選手や観客の心と身体を癒やす日本一のおんせん県おいたの温泉とおいしい食べ物がある。また、全国高校ラグビー大会で黒衣軍団として活躍する大分舞鶴高校など本県のラグビー熱は大変盛んである。

この国際大会を大分県へ招致することができれば、スポーツによる観光振興やそれに伴うインフラ整備等、幅広い分野への経済効果が期待されるだけでなく、県民のスポーツへの関心の高まりやホスピタリティーの形成、また青少年が国際感覚を身につけるための情操教育にも好影響を及ぼす。

よって、本議会は、大分県でのラグビーワールドカップ開催実現のため、ノーサイドの精神で今後とも格段の努力をするとともに、本県での開催が決定されるよう強く要望する。

右、決議する。

平成二十六年九月十八日